

「このままでは、足尾が大変なことになる！」

～その分野のスペシャリストの協力で、まちを元気に～

思い

軌跡



平成21年8月8日に開催した「ガソリンカー祭」

【主な活動実績】

- 平成17年4月 足尾歴史館の開館
 - 平成18年6月 世界遺産登録を考える会発足
 - 平成19年4月 足尾駅祭開催
 - 平成21年8月 ガソリンカーを復元し一般公開(現在も年3回保存車両を一般公開)
- 〔参考URL〕 <http://ashiorekishikan.com/>

NPO法人足尾歴史館 理事長

長井 一雄

このままでは足尾が大変なことになる！

大正時代には県都宇都宮に次ぐ4万人の人口があった故郷「足尾」。仕事を退職し足尾に戻ってきたとき、人口は3,100人と大幅に減少しており、少子高齢化が深刻な状況になっていた。

「なんとかしたい！」と思い、足尾歴史館を平成17年に立ち上げた。

「手づくり」

大正15年から昭和28年まで足尾の町中を走行し、銅山の資材や生活物資輸送、足尾町民の足となっていたガソリンカーを「手づくり」で復元した。

図面も部品も何も無い状態からスタートし、写真を頼りに復元。部品は自分たちで作成した。

スペシャリストの協力

団体の活動は、その道のスペシャリストや物の寄託による。

例えば、保存車両の修理は地元自動車修理工場の整備士、歴史館の展示にある模型は、模型作家からの寄託で成り立っている。

ぜひ、足尾へ！！

足尾には日本の近代化を支えた多くの産業遺産群があり、私たちが産業遺産ガイドとしても活動しています！

是非、足尾にお越し下さい！！



「足尾駅保存車両の一般公開」イベントの様子



模型作家から寄託された模型



産業遺産ガイドとして、足尾銅山の歴史を説明